

1. 対象部材

樹脂複合勝手口ドア用レバーハンドル錠

略称：CjK 錠

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

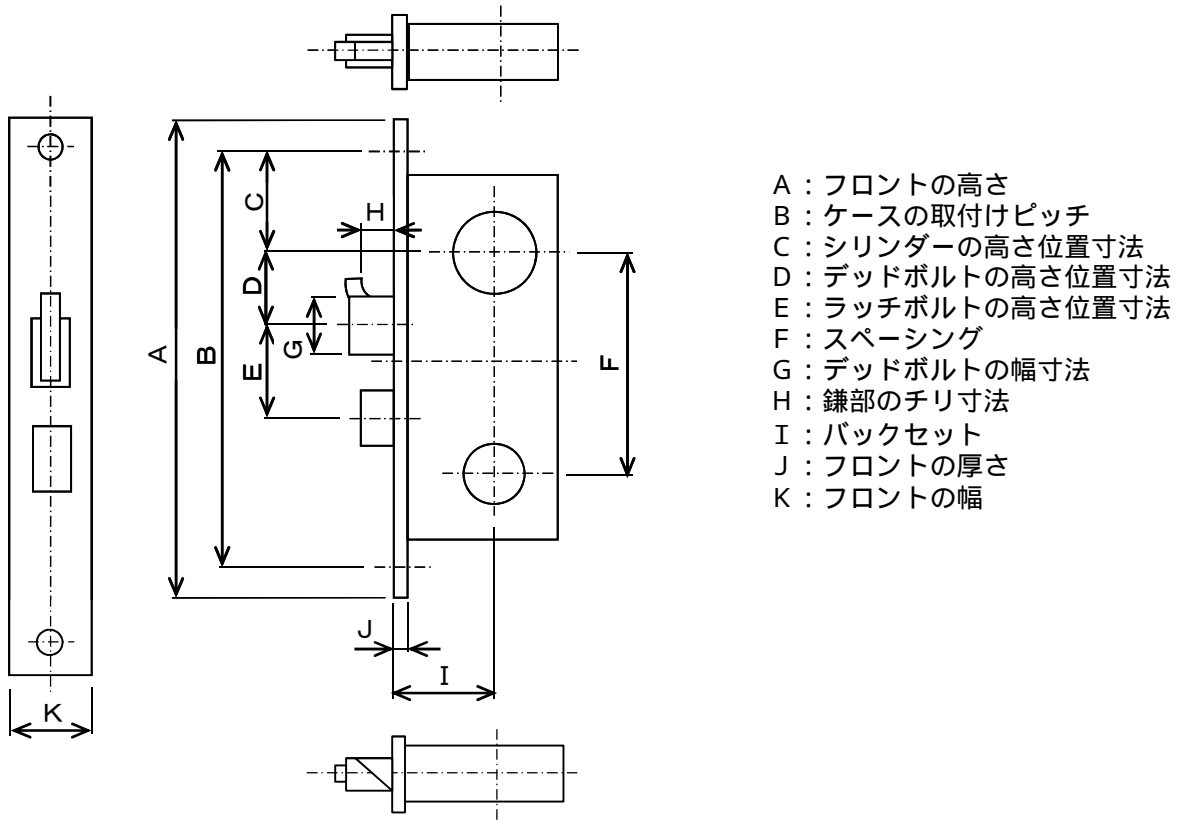


図1 - 標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1 - 各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A : フロントの高さ	148
B : ケースの取付けピッチ	130
C : シリンダーの高さ位置寸法	32.5
D : デッドボルトの高さ位置寸法	16.5
E : ラッチボルトの高さ位置寸法	23.5
F : ハンドル高さ位置寸法	65
G : デッドボルトの幅寸法	23
H : 鎌部のチリ寸法	9.7
I : バックセット	32
J : フロントの厚さ	4
K : フロントの幅	25

4 . 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、当該製品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、”CjK”マークを表示する。

5 . 特記事項

関連部材が具備すべき条件については長住協HP等で確認する。

6 . 解説

6.1 レバーハンドル錠

レバーハンドルが取り付け、ラッチボルト、デットボルトを操作する機能を有し、キーまたはサムターンで施解できる錠。

6.2 取付

部材のドア本体への取り付けは、M4皿小ネジを用いる。

6.3 標準(共通)化の部位について

ケース本体部の外形寸法については、フロント部で規定される”ケースの取付けピッチ”および”フロントの幅”より小さいことが明らかであることから、標準(共通)化の部位から除外した。

7 . 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表わすものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行なう事を推奨する。

注記)専門知識を有するものとは：専門知識、技術、経験を有するものである。